



北川市長と日本共産党議員団

日本共産党議員団 北川市長に 2017年度 予算要望書を提出

重点要望のうち主な項目を掲載しました。
(議員団ホームページに全文掲載)

- 廃プラ処理の見直しで、健康被害の解消を進めること。
- ごみ減量の取り組みを進めること。ごみ処理の見直しとごみ減量目標と計画を新たに作成すること。
- 介護保険料を引き下げること。保険料・利用料の減免制度を創設すること。
- 来年度から実施予定の日常生活総合支援事業については、現行サービスの水準を保つことを基本にして行うこと。
- 中核市移行については、他市の現状を丁寧に調査し、必要な専門職の確保や条件整備を行うこと。
- 住宅リフォーム助成制度を創設すること。
- 小中一貫校の設置については、関係者と地域の合意を前提として、現場の声を聞き、慎重に対応すること。
- 地域公共交通網形成計画の策定は、各地域の特徴を反映すること。当面4駅から公共施設への直通バス便の確保を検討すること。
- 就学援助制度は、国の支給項目であるクラブ活動費などの追加、入学準備金の給付時期を早めるなど、さらなる拡充を検討すること。
- 認可保育所を増やし、保育所の待機児を解消すること。保育料については、まず多子軽減の所得制限をなくすこと。
- 公立保育所の3才児以上の完全給食を実施すること。
- 子どもの貧困実態調査を行い、貧困対策推進計画の策定を検討すること。
- 子ども食堂など、市民の子どもを守る取り組みに対する支援を検討すること。
- 小中学校の給食費の無償化を検討すること。当面、第3子の無償化を具体化すること。
- あかつき・ひばり園の引き継ぎ体制については、保護者・関係者の意見を聞き、可能な限り市職員を残すこと。市が責任をもつこと。
- 通学路の安全確保のために、交通指導員の増員と適正配置を行うこと。
- 水に親しめる子どもの遊び場や、家族でバーベキューなどができる施設を増やすこと。
- 学童保育事業については、土曜開所を検討すること。
- 全国学力テストの学校別の結果公表はおこなわないこと。
- 小中学校の大規模改修計画の策定、窓のアルミサッシ化など中小規模の改修計画の策定、学校施設の管理費、修繕費を増額すること。
- 中学校給食については、あたたかいもので、子どもが喜んで食べられるものに抜本的に改善すること。

11月16日、日本共産党議員団は、2017年度予算要望書を北川法夫市長に提出しました。要望項目は、32の重点項目、国府への32項目、分野別128項目、合計192項目となりました。



発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX: 824-7760
No.2852

石本えりな
太秦元町9-2-203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503



「今後変更もあり得る」として(案)公表
緩和したサービスは現行の約7割の報酬に

介護保険 日常生活総合支援事業 現行のサービス水準を保つこと

国の介護保険制度の変更で、要支援1、2の高齢者の訪問介護と通所介護サービスが市町村が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行します。寝屋川市は「今後変更もあり得る」として来年4月実施予定の「介護予防・日常生活支援総合事業」案を示しました。下表参照

市の案では、訪問介護サービスの場合、現行サービス以外に、緩和した基準のサービス(報酬単価を現行の約7割)、住民主体(有償ボランティア)による支援の3つのサービスになります。現在の利用している人は、現行のサービスを継続できます。新規の要介護認定申請や更新の際に「非該当」(自立)と判定された人は、基本チェックリストを実施し、事業対象者となった場合には、住民主体による支援を利用できるものです。

介護保険を利用する市民の現行サービスの水準を保つことが求められます。市の事業(案)全文は議員団のホームページに掲載。

(訪問型サービスの場合)

寝屋川市 介護予防・日常生活支援総合事業(案)

● 現行の訪問介護相当

- 内容/身体介護サービス ・実施方法/事業者指定
- 報酬単価/ 週1回 1168単位 (12,661円)
- 2 2335 (25,311円)
- 3 3704 (40,151円)
- 利用者負担/介護給付の利用者負担割合

● 緩和した基準によるサービス

- 内容/研修受講者の身体介護以外のサービス(買い物・調理・掃除等) ・実施方法/事業者指定
- 報酬単価/ 週1回 851単位 (9,224円)
- 2 1702 (18,449円)
- 3 2553 (27,674円)
- 利用者負担/介護給付の利用者負担割合

● 住民主体による支援

- 内容/有償活動員による、身体介護以外のサービス(買い物・調理・掃除等) ・実施方法/補助
- 利用者負担/ 法人(団体)が決める自己負担額

大阪府政の今

府決算見込み 府民施策充実できる

府議会の特別委員会では15年度決算の審議が始まっています。

歳入総額4兆6946億円、歳出総額4兆6692億円で赤字。負債残高は6兆2861億円。前年比890億円の減。貯金にあたる財政調整基金も取り崩しは30億円にとどまり、1602億円となっています。

松井知事は財政の厳しさを理由に、子育て支援や河川改修など、府民の暮らしや命を守る施策の充実に背を向けてきました。

今年度当初予算でも、財政調整基金を過去最大の710億円取り崩すとし、財政の厳しさをアピールしています。

一方、子どもの医療助成制度の府負担は、14年度の約36億6千万円から15年度は34億2千万円に減少しています。通院での対象年齢を2才から就学前までに拡大したこと、府負担が4億6千万円に増える見込みでしたが、実際は所得制限の強化で3割の子どもが府の補助対象から外れました。

財政が黒字であることから、大阪府の4福祉医療助成制度については、利用者負担を増やさずに拡充すべきです。

議員日誌



中林 かずえ

民報前号で「ごみ質分析調査の結果」が他記事と混載していたことをお詫びします。

初めて市議会に送っていた22年前に、大変お世話になったFさんの奥さんが他界されました。

この2月に米寿のお祝いをされたばかりでした。

姪の方は「自分のことよりFさんや家族、身内のために尽くし続けた人だった」と話しました。

私が初めてお会いしたときには、大島紬を織り機で「カタンコトン」と織っておられました。

料理が上手で、奄美の郷土料理を頂きました。

ご自宅の居間は、店舗風になっていて、

台所の周りをL字型のカウンターが囲み、ちようちんとのれんの向こうで奥さんが料理や飲み物を出してくれました。

Fさんはよくふざけて「ここから、ママを口説いているんだけど・・・」と楽しそうで仲の良いご夫婦でした。

私の4才と小2、小5の3人の子どもたちは、Fさんが作った木枠のプールで遊ばせてもらいました。

当時を思い出しながら、たくさんの方に支えていただいて、今の私の議席があるというのを改めて感じました。